

仕様書		業務名 固定資産税(償却資産)	プログラム名(内部整理用) DADO(償却資産申告書(電算課標))	作成期限																					
※コマンドトークンス名	※バッチプロテクション	作成者 法人課	作成年月日 R7.12.22	No. 1 / 2																					
原票名	※スタンダードジョブ名		※バッチ名																						
償却資産申告書(償却資産課税台帳)																									
(電算申告の場合)																									
1 パンチ区分 外部ファイル設計書のとおり パンチ区分として「1」を入力する。			1. OUTPUT DEVICE CD-RW(正副)																						
2 区コード 外部ファイル設計書のとおり 申告書の「区」欄に記載された区コードを以下の通り変換のうえ、区コードのデータを作成する。 <table border="0"><thead><tr><th style="text-align: center;">記載内容</th><th style="width: 20px;"></th><th style="text-align: center;">変換後</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ 1</td><td style="text-align: center;">→</td><td>01(中央区)</td></tr><tr><td>・ 2</td><td style="text-align: center;">→</td><td>02(花見川区)</td></tr><tr><td>・ 3</td><td style="text-align: center;">→</td><td>03(稲毛区)</td></tr><tr><td>・ 4</td><td style="text-align: center;">→</td><td>04(若葉区)</td></tr><tr><td>・ 5</td><td style="text-align: center;">→</td><td>05(緑区)</td></tr><tr><td>・ 6</td><td style="text-align: center;">→</td><td>06(美浜区)</td></tr></tbody></table> 区コードが、上記のコード以外または無記入の場合は、その箇所を蛍光マーカで着色のうえ申告書に付箋を貼付し、その申告書のデータ作成を行わず、不作成リストを作成する。			記載内容		変換後	・ 1	→	01(中央区)	・ 2	→	02(花見川区)	・ 3	→	03(稲毛区)	・ 4	→	04(若葉区)	・ 5	→	05(緑区)	・ 6	→	06(美浜区)	2. RECORD SIZE 124 BYTE	
記載内容		変換後																							
・ 1	→	01(中央区)																							
・ 2	→	02(花見川区)																							
・ 3	→	03(稲毛区)																							
・ 4	→	04(若葉区)																							
・ 5	→	05(緑区)																							
・ 6	→	06(美浜区)																							
3 年度 外部ファイル設計書のとおりの申告書に記載された内容を以下の通り変換のうえ、年度のデータを作成を行う。			3. FILE NAME 更正課標準パンチデータ 不作成リストとは、パンチデータを作成しない帳票関する以下の項目を表示したリストである。 ①項番 ②帳票コード ③宛番号(DACOの番号を記載) ④エラー項目名 当該リストは、一般分(DACOとDBZO、DBGO)と電算分(DACOとDADO)を別に作成し、excel形式で作成すること。																						

	記載内容	変換後	記載内容	変換後														
	・9(令和9年度)	→ 2027	・39(平成39年度)	→ 2027														
	・無記入	→ 2027																
処 理 条 件	<p>年度が上記以外の場合は、その箇所を蛍光マーカーで着色のうえ申告書に付箋を貼付し、その申告書と申告書に付随する帳票(DBZO(種類別明細書(増加資産用・全資産用))及びDBG0(種類別明細書(減少資産用))及びDADO(償却資産申告書(電算課税)))のデータ作成を行わず、不作成リストを作成する。</p> <p>4 宛名番号</p> <p>外部ファイル設計書のとおり</p> <p>申告書の「所有者コード」欄に記載された宛名番号(所有者コード)のデータを作成する。</p> <p>申告書に記載された宛名番号(所有者コード)が9桁の場合は、宛名番号の先頭に「00」を追加し、11桁でデータ作成すること。</p> <p>宛名番号が、9桁、11桁の算用数字以外または無記入の場合は、その箇所を蛍光マーカーで着色のうえ申告書に付箋を貼付し、その申告書のデータ作成を行わず、不作成リストを作成する。</p> <p>5 更正事由コード及び更正年月日</p> <p>外部ファイル設計書のとおり</p> <p>コード及び入力日については、別途指示による。</p> <p>6 種類区分</p> <p>外部ファイル設計書のとおり</p> <p>申告書の「取得価額」欄に金額が記載されている資産の種類区分のデータを作成する。</p> <table><tr><td>記載内容</td><td>作成内容</td></tr><tr><td>・「構築物」欄に記載がある</td><td>→ 1</td></tr><tr><td>・「機械及び装置」欄に記載がある</td><td>→ 2</td></tr><tr><td>・「船舶」欄に記載がある</td><td>→ 3</td></tr><tr><td>・「航空機」欄に記載がある</td><td>→ 4</td></tr><tr><td>・「車両及び運搬具」欄に記載がある</td><td>→ 5</td></tr><tr><td>・「工具・器具及び備品」欄に記載がある</td><td>→ 6</td></tr></table>				記載内容	作成内容	・「構築物」欄に記載がある	→ 1	・「機械及び装置」欄に記載がある	→ 2	・「船舶」欄に記載がある	→ 3	・「航空機」欄に記載がある	→ 4	・「車両及び運搬具」欄に記載がある	→ 5	・「工具・器具及び備品」欄に記載がある	→ 6
記載内容	作成内容																	
・「構築物」欄に記載がある	→ 1																	
・「機械及び装置」欄に記載がある	→ 2																	
・「船舶」欄に記載がある	→ 3																	
・「航空機」欄に記載がある	→ 4																	
・「車両及び運搬具」欄に記載がある	→ 5																	
・「工具・器具及び備品」欄に記載がある	→ 6																	

仕様書		業務名 固定資産税(償却資産)	プログラム名(内部整理用) DADO(償却資産申告書(電算課標))	作成期限	
※コマンドトークンス名	※バッチプロテクション	作成者 法人課	作成年月日 R7.12.22	No.	2 / 2
原票名		※スタンダードジョブ名		※バッチ名	
償却資産申告書(償却資産課税台帳)					
(電算申告の場合)					
処 理 条 件	7 前年前取得価額・前年中減少価額・前年中取得価額 外部ファイル設計書のとおり 申告書の「取得価額」欄の「前年前までに取得したもの(イ)」「前年中に減少したもの(ロ)」及び「前年中に取得したもの(ハ)」の欄に記載された金額について、資産の種類ごとに価額のデータを作成する。 価額に記載されている金額が13桁未満の場合は価額の先頭に「0」を追加し、13桁で作成すること。				
	8 帳簿価額 外部ファイル設計書のとおり 帳簿価額のデータは13桁で作成し、全桁「0」を入力する。				
	9 評価額 申告書の「評価額」欄に記載された金額について、資産の種類ごとに評価額のデータを作成する。 評価額に記載されている金額が13桁未満の場合は評価額の先頭に「0」を追加し、13桁で作成すること。				